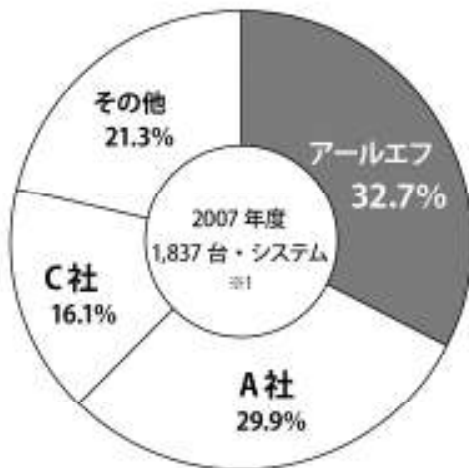
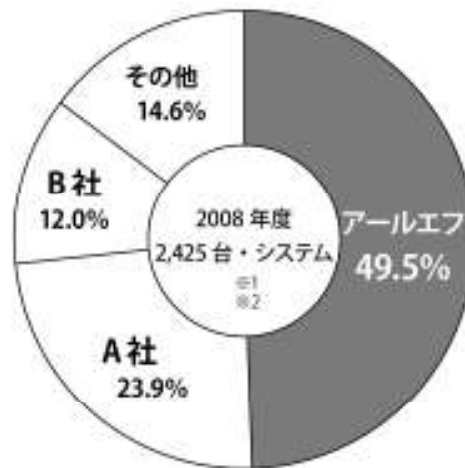


株式会社アールエフのデジタル X 線センサー「NAOMI」、シェア No.1 を確立
～市場占有率は 49.5%、出荷台数は前年比 200%～

2007 年度メーカー（発売元）別台数シェア



2008 年度メーカー（発売元）別台数シェア



※1 一般 X 線撮影装置、一般 X 線透視撮影装置トータル台数
※2 2008 年度は予測値を含む

(出典) 株式会社 矢野経済研究所調べ

株式会社アールエフ（本社：長野県長野市、代表取締役社長：丸山次郎）の開発・製造・販売するデジタル X 線センサー「NAOMI」が、2007 年度に引き続き 2008 年度も市場シェア No.1 になり、続く 2 位以下を大きく引き離しました。

株式会社矢野経済研究所の調べによると、アールエフのデジタル X 線センサー「NAOMI」の市場占有率は 49.5%^{※3}になりました。2 位の A 社は 23.9%、続く B 社は 12.0%となっており、アールエフが DR（デジタル X 線）市場で、半数近いシェアを獲得しました。また、前年比ではシェア 150%、出荷台数は 200%の伸びとなりました。

当社では、医療現場でのレントゲンのデジタル化は、大規模病院ではほぼ完了していたのに対し、一般診療所ではほとんど普及しておらず、その原因を、既存の他社デジタル X 線製品が大規模病院を主なターゲットとしており、非常に高額であったためと分析しています。そこで一般診療所での使用を想定し、Multi CCD Detector 方式^{※4}という独自の技術を用い、価格を他

※3 I.I DR タイプ

※4 12 個の CCD を 1 ユニットとして、複数のカメラを組み合わせ、画像を取得する方法。アールエフ独自の画像取得技術

社製品の約 1/3 に抑えた「NAOMI」を、2006 年に初めて市場投入しました。今回の結果は、「NAOMI」が低価格でコンパクトかつ扱いやすい製品を求める一般診療所の需要に合致し、医療現場のデジタル化を急速に後押ししたものとみています。

この度のシェア No.1 の調査報告を受け、代表取締役社長の丸山次郎は、次のように述べています。「医療分野のデジタル化・IT 化が進めば、医師や看護師の負担が軽減されるだけでなく、患者の待ち時間は減り、医療現場でのミスも防ぐことができる。当社は「NAOMI」をはじめとして、一般診療所にも導入しやすい価格帯の医療機器を提供することで、病院の規模や設備による医療格差を是正する一翼を担いたい。」

デジタル X 線センサー「NAOMI」は、医療目的以外に、産業分野でも非破壊検査で使われています。アールエフは昨年より、Multi CCD Detector 方式のレントゲンシステムの OEM 販売も開始しています。

< 本件に関するお問合せ先 >

■ 報道関係者向けお問合せ先

株式会社アールエフ 広報

E-mail: pr@rfsystemlab.com

Tel: 026-225-7766 (平日 10:00~18:30)

■ 製品に関するお問合せ先

株式会社アールエフ 医用支援事業部

E-mail: md@rfsystemlab.com

Tel: 026-225-7711 (平日 10:00~18:30)

< 会社概要 >

会社名 : 株式会社アールエフ

代表者 : 代表取締役社長 丸山次郎

本社所在地 : 〒380-0935 長野県長野市中御所 3

登記 : 1998 年 6 月

資本金 : 9 億 110 万円 (資本準備金 8 億 8,110 万円)

従業員 : 165 名

主な事業 : 医療・工業用 X 線センサー / 工業用内視鏡 / 歯科口腔内カメラ /
放送・業務用 CCD カメラの開発・製造・販売 / カプセル内視鏡等の開発

URL : <http://www.rfsystemlab.com>
